

2026 CAR PPT Script

4 of 6: DRT/MAT in NA – Helping Members Take Root

スライド 1

これは、2026年カンファレンス・アジェンダ・レポート（CAR）の資料を扱う6つのパワーポイントのうち、4つ目のスライドです。

スライド 2

このパワーポイントは、「NA–Helping Members Take Root（メンバーが根付くのを助ける）」のエッセイ「DRT/MAT」を扱います。

スライド 3

これらのPPTは、CARの主要ポイントのみを扱っています。全てのメンバーがCAR自体を読むことを推奨します。2026年CARの完全版、他のパワーポイント、CARアンケート、ディスカッション質問の入力フォーム、およびその他のカンファレンス資料は、na.org/conference でご覧ください。

スライド 4

このCARには、ディスカッションクエストが含まれる2つのトピックのうちの1つです。ワークショップでこれらの質問をディスカッションする場合、これはディスカッションであり決定ではないことにご注意ください。合意に達する必要はありません。お互いの意見を聞き、入力フォーム（na.org/survey）に記入するための考えをまとめる機会です。

スライド 5

「私たちの全体の福利（Our Common Welfare）」を考えると、私たちの未来はメッセージを明確にし、ナルコティクス・アノニマスの扉をすべてのアディクトに開かれたものにするにかかっていると気づきます。誰がNAに来るか、どうやって私たちを見つけるか、そして定着するかどうかは、私たち全員にとって重要です。課題ディスカッショントピック（IDT）「メンバーが根付くのを助ける」は、アディクトがNAの扉をくぐった後に何が起るか、そして人々が「定着して滞在する（つながる）」—ナルコティクス・アノニマスのメンバーになる決断をする—ことをどう助けられるかを問いました。

スライド 6

このIDTには多くの意見が寄せられました。アディクション治療に使われる薬物は、長い間NAにおける楔のような問題でした。850以上の回答の中で、際立っていたのは傷つきやすさと緊急性に関する共有感覚でした。多くの私たちにとって、これはアディクトの苦しみと、フェローシップ自体の生存の問題のように感じられます。現時点で最も必要なのは、この問題をめぐる回復の雰囲気を作ることのようにです。共通の土台はあり、その上にこの会話の新たな基盤を築くことができます。この二極化した世界で、この

高圧的な問題について、今は愛、思いやり、そして反対意見を尊重する意志をもって互いの意見を聞くことに同意できますか？

スライド 7

この問題をディスカッションしてきた年月の中で、特に米国におけるNAの成長は横ばいか、むしろ減少しています。メンバーの年齢層が上がっており、約半数が50歳以上、47%が10年以上クリーンです。最近のメンバーシップ調査では、米国には30歳未満のメンバーや、アディクション治療のために薬物を使ってNAに来たメンバーが、世界の他地域より少ないことが示されました。

NAの未来は、これから始める人々や、まだ来ていない人々にかかっています。メンバーとの共感と受け入れられた経験こそが、人がNAに留まる理由です。新しいメンバーが長期的にメンバーになれる機会を確保する必要があります。

スライド 8

WCNA 38では、PRセッションの専門家たちは、アディクトにNAを紹介することに対して率直に懸念を表明しました。アディクション治療薬を使用しているアディクトがNAミーティングで敵対的または歓迎されない雰囲気を経験したためです。また、多くのメンバーは、完全な正直さを掲げるプログラムの中で、処方された薬（場合によっては法的に義務付けられた薬）について話すことを控えるように助言されたと述べています。多くの場所で、私たちはその重要な歓迎や希望の一貫したメッセージを提供できていません。アディクトが真実を語ることを恐れる雰囲気を作ってしまう可能性もあります。

スライド 9

NAに来たアディクトが、「私たちの持っているものを望む」まで十分にNAにとどまるようにどう助けられるでしょうか？アディクト治療の専門家から非常に異なるメッセージを聞いているかもしれない人々が、私たちの生き方を選ぶようにどう助けられるでしょうか？そして、NAの誠実さやメッセージを損なうことなく、アディクトにとって歓迎される環境を作ることには可能でしょうか？

スライド 10

私たちは何年も、何らかの形の薬物置換療法（DRT/MAT）について話してきました。

- ・ 1990年代、ワールドボードは回覧文書を発行しました。
- ・ 2006年IDT：私たちのミーティングにいない人は誰か？
- ・ 2012年IDT：第三の伝統（メンバーであるために要求される唯一の方法は、使うことをやめたいという願望だけである）
- ・ 2014年IDT：全てのメンバーを歓迎する
- ・ 2018年IDT：ナルコティクス・アノニマスに関連するDRT/MAT

- ・ 2023年IDT：ナルコティクス・アノニマスに関連するDRT/MAT：メンバーが根付くのを助ける

スライド 11

多くのディスカッションを経ても、アディクション治療薬に関する多くの質問に対する回答でコンセンサスには至っていません。しかし、いくつかの進展はあります。基本原則についてのコンセンサスがあります：

- 一体性
- ウェルカム
- 私たちのメッセージ

私たちはすべての人をナルコティクス・アノニマスに歓迎し、ここに「根を下ろす」—メンバーになる—かどうかを判断する手助けをしたい。しかし、アディクトがここにいる場合、難しい質問が生じます。主にサービスやお祝い（バースデー）に関するものです。あるメンバーはIDTへの回答でこう言いました：

新しいメンバーがNAに初めて、あるいはMATを使用して定期的に参加すること自体は問題ではありません。私たちの第三の伝統は確立されたものです：私たちはすべての人を歓迎します。フェロウシップが直面する正確なジレンマはこれではありません。ジレンマは「彼らはメンバーか？」「願望はあるか？」ではありません。誰かが「メンバー」であるのは自分でそう言った時であり、その願望は測定不可能なものです。問題は、「MATを使用しているメンバーは、NAの原則に従ってクリーンで完全に薬物を使っていない状態（abstinence）と見なされるか？」です。

これは軽い意見の相違ではありません。多くの私たちにとって、これはナルコティクス・アノニマスとは何か、回復とは何かという理解の核心に関わります。解決できないと認めることは、この問題の重大さを認めることです。これは実際、生と死の問題です。どちらか一方に偏れば、アディクトは去り、命を落とすでしょう。立場がはっきりしている多くの人にとって、答えは明白に見えるようです。

スライド 12

この会話が始まった頃、多くの私たちは、フェロウシップがクリーンの定義や、アディクションに対する薬物ベースのアプローチについて単一の立場に達すると考えていました。

しかし、アディクション治療のための薬を服用している人が「クリーン」と言えるかどうかについて、コンセンサスはありません。サービスパンフレットや回覧文書の回答では、NAメンバーの心の中でこの問題は解決されませんでした。しかし、私たちは互いに一体性と寛容（unity and grace）の中で生き、回復するための道具を持っています。

スライド 13

このような重大な意見の違いをどう乗り越えるかを考えると、私たちはスピリチュアルな原理に立ち返ります。そしてそれは、まず認めることと降伏することから始まります。

私たちは、薬物を使っていない状態（abstinence）がNAプログラムとメッセージの中心であるという点ではコンセンサスがあります。

しかし、クリーン（abstinence）とは正確には何かについてはメンバー間でコンセンサスはありません。多くの私たちは、さまざまな理由で回復中に薬物が必要であった経験があります。これらの問題は、冊子『病気の時に』やIP #30『メンタルヘルス・イン・リカバリー』で扱われています。多くの私たちはアディクション治療の薬を全く別のカテゴリーと考えていますが、これらの薬はもはや単純なオピオイドやオピオイドブロッカーだけではなく、種類の線引きがますます困難になっています。

それでも、私たちは薬物を使っていない状態（abstinence）を信じていますが、メンバーは薬物を使っていない状態（abstinence）を異なる方法で定義し体験しています。最終的に薬物を使っていない状態（abstinence）とは、回復中のアディクト自身が、スポンサーやハイヤーパワーの力とともに決めることです。

多くの私たちにとって驚きかもしれませんが、この現実を受け入れることは自由をもたらします。コンセンサスに近づいていないことを認めることで、この会話に別のアプローチで臨む自由が生まれます。薬物を使っていない状態（abstinence）に関する視点の多様性は、私たちのプログラムにおける回復アプローチの多様性を示しています。私たち全員が知っているのは、このプロセスは機能し、時間がかかっても真実に導くということです。しかし、グループやメッセージの誠実さが問われていると感じるときに、プロセスを信じることは容易ではありません。

スライド 14

薬物による治療の課題は、以前のIDTで見たように、第三および第五の伝統を通して語られることが多いです。

- 第三の伝統は、メンバーであるために要求される唯一のことは使うことをやめたいという願望であると教えています。
- 『It Works』は、「私たちの使命は願望の火を消すことではなく、燃え上がらせることだ。ミーティングに入ってくるアディクト、使用中のアディクトでさえ、無視できない意欲を示している」と述べています。

IDTでは、さまざまな治療法についての私たちの意見と、ガイディング・プリンシプルが指摘するかもしれない相互の懸念に向き合いました。

私たち一人ひとりには、NAグループをすべての人にとって歓迎される場にするために果たすべき役割があります。そのためには、他者の回復について抱く自分の偏見を点検することが必要です。新しいメンバーは、若すぎるように見えたり、年を取りすぎているように見えたり、打ちのめされすぎている、あるいははまだ十分に失っていないように見えるかもしれません。間違った薬を使用したり、私たちと同じようには使わなかったりするかもしれません。仮釈放中であつたり、私たちが意見を持つ薬を服用しているかもしれません……。回復中のアディクトのモデルは存在せず、苦しむアディクトのプロフィールもなく、メンバーシップの条件は願望以外にはありません。それは、そのアディクトとそのハイヤーパワーとの間の問題です。

スライド 15

第五の伝統には、「私たちの第一の目的は、単純にどんなアディクトであっても薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができるというメッセージを伝えること」とあります。

DRT/MATに関する会話は、メッセージを伝えることに集中するとき、そのメッセージを聞く人をコントロールしたいという欲望をある程度手放し、各自が自分のペースで理解に至ることを許すことを思い出させます。

この会話は重要でしたが、実際の課題は第二の伝統にあります。私たちはこの問題がNAを「壊す」のではないかと恐れています。しかし、私たちのフェローシップが回復力を持っていることを信頼するなら、信仰をもって一歩踏み出すことが求められます。

スライド 16-17：どこにコンセンサスがあるのか

ベーシックテキストのシンボルの説明にはこうあります：

「外側の円は普遍的で絶対的なプログラムをあらわしており、その内側は回復の道を歩む人たちによって明らかにされるもののスペースになっている」

今日、私たちの重要で多様なプログラムはこれを裏付けています。意見や実践の違いは大きいですが、それでも私たちは一体性の中で共に回復し続けています。

- ・私たちのメッセージは希望と自由の約束です。多くの人にとって、NAに来たとき、完全な薬物を使っていない状態 (abstinence) は最初の目標ではありません。
- ・あるメンバーの言葉を借りれば「空港の周りを長く巡回してからようやく着陸する人もいる。」メンバーシップには使用をやめたいという願望だけが必要であり、メンバーの階級はありません。私たちの役割は、誰が何を摂取するかやその関係を決めることではなく、メンバー自身がスポンサーやハイヤーパワーの導きのもとで答えを見つけられるよう助けることです。
- ・私たちは永遠に非職業的であり、組織として、依存症治療の現場での会話には関わりません。治療はほぼ常に、アディクションが活発な状態から何らかの回復への移行に関するものです。NAのアプローチは安定で終わるものではなく、多くの面でここから始まります。私たちのアプローチは変わりません。私たちは共に回復を求めるアディクトであり、提供するのは他者とのフェローシップにおけるスピリチュアルな道です。
- ・ナルコティクス・アノニマスはスピリチュアルなプログラムであり、人々のフェローシップであり、行動のプログラムです。科学ではありませんが、研究者が私たちを鏡として映してくれることには感謝しています。
- ・私たちのメッセージは十分に魅力的で、多くの人々が最終的にクリーンを望みます。メッセージを受け取る前や、メンバーとしての手応えを得る前に追い返してしまうことは、致命的です。あるオールドタイマーはこう言いました。「私たちは（アディクションの治療薬を使っている人）を、かつてAAの初期メンバーが私たちを扱ったように扱っている！」メンバー

にスティグマを与えても、クリーンにはなりません。治療専門家の考え方も変わりません。ただ、メッセージが届きにくくなるだけです。

スライド 18

プログラムのスピリチュアルな作業は、独特な進み方をします。この作業に深く関わると、私たちはクリーンでありたいと思うようになります。

私たちの課題は、この作業がメンバーを必要な場所に導くと信じることです。この会話が私たちを伝統に導くことは見えますが、最終的な答えはステップにあるかもしれません。

この会話を単に正しいか間違っているかの問題に限定せず、どのようにして人々をNAのメンバーシップ体験に招き入れられるかを問うことができます。

私たちはアディクトがクリーンとは何かを理解するまで十分に繋がり続け、自分で選ぶ勇気を持てるよう居場所を提供したいと思っています。それが1日であろうと10年かかろうと構いません。

私たちはアディクトがリラプスしているとき、このことを理解しています。しかし、アディクトが薬物治療ベースの回復をしているときには、忍耐するのが難しいようです。私たちは、アディクトが薬物を使っていない状態 (abstinence) が自分にとって可能であると信じられるほど愛情深く受け入れられるようになれるでしょうか？

スライド 19 切り口を変える

私たちのベーシックテキストは、プログラムを自分自身のために理解することを教えています。そして、多様な理解の中で、私たちは第一の伝統の精神のもと平和的に共存します。

合意できないことは多くありますが、私たちはメッセージ、目的、プログラム、そして深い海を乗り越えるための原理を共有しています。

意見が完全に一致していなくても、一体性のもとで共に生きることを学ぶことは、私たちに平静さを実践することを求めます。

私たちは、メンバー間でMATについて意見が一致しないことを理解したうえで、会話を変える時です。合意できる点に焦点を当てることで前進できます。

スライド 20

NAコミュニティは、サービスやお祝い（バースデー）の問題にそれぞれ異なる対応をするかもしれません。また、スポンサーも薬物に対する考え方は異なるかもしれません。それで構いません。

一方で、私たちはコンセンサスを再確認し、アディクトを歓迎し、彼ら自身が理解に至るまで支援することにエネルギーを集中できます。

スライド 21

メンバーがNAに根付く手助けをする方法を問う過程で、このIDTは重要なことを確認しました。私たちの根はずでに深く絡み合っているということです。

「回復の道を歩む人たちによって明らかにされるもの」が一体性をもって集まるとき、シンボルはこう示します：

「基盤が広がれば（数とフェローシップで一体性が増すにつれ）、ピラミッドの側面は広がり、自由の頂点は高くなる。」

私たちは、周囲に対立が多い中でも、あらゆる違いを抱えて共に立てることに感謝しています。これからも会話を続け、より広い扉、より広い基盤、そしてより大きな理解を作り上げ、ここからどう成長するかを探します。

まずは、地域コミュニティからの経験を求める質問から始めます。

スライド 22 ディスカッション・アイスブレイク

[ファシリテーター注：前回のディスカッション質問の前にこのアイスブレイクを行った場合は、まだ共有していない人に発言の機会を与えるか、このセッションでは省略しても構いません。]

このサイクルでの多くのディスカッションは、NAに入ってきた人々がここを「自分の居場所だ」と思えるかどうかを考えることを求めています。CARの質問をディスカッションする前に、私たちそれぞれがニューカマーだったとき、どのように「自分だけは違う」と感じたかを数分間振り返ります。

- 新しく繋がった時、どのように違い、独特、または部外者のように感じましたか？
- NAが自分の居場所だと思えるのを助けたものは何でしたか？

[ファシリテーターの体験を共有]

他に共有したい人はいますか？

スライド 23 ディスカッション・クエスチョン

WSC 2026では、カンファレンス参加者がこの問題をディスカッションします。ディスカッションに役立てるため、CARワークショップでこれらの質問を話し合い、2026年4月1日までに na.org/surveys でフィードバックを提供してください。これはディスカッションであり、決定ではありません。合意に達する必要はありません。入力フォームに記入するために、お互いの意見を聞き、自分の考えをまとめる機会です。

質問例

- メンバーがお祝い（バースデー）やサービスに参加するとき、MATを使用しているかどうかを尋ねていますか？その後どうしていますか？
(ディスカッション用一時停止)
- 私たちの違いを踏まえ、どのように一体性を育み、各メンバーの回復プロセスを尊重できますか？
- 個人的な偏見を乗り越え、プロセスが自分たちと異なる新しいメンバーが地域コミュニティに根付くのをどう助けますか？
(ディスカッション用一時停止)

スライド 24

このパワーポイントが、資料のディスカッションに役立ったことを願います。質問への考えを na.org/survey で共有してください。皆さんの意見は、5月のワールドサービスカンファレンスで参加者に考慮されます。

なお、CARの他の部分に焦点を当てた5つのパワーポイントがあり、これらの資料、CAR自体、オンラインCARアンケートは na.org/conference で入手できます。

CARやその他の問題に関する質問やフィードバックは、worldboard@na.org までお寄せください。